

免疫組織化学染色		P000011			
		担当部署			
免疫染色		病理			
<b>検査オーダー</b>					
患者同意に関する要求事項		該当なし			
オーダーリング手順	1	サイボウズ→ファイル管理→54. 病理診断科→遺伝子解析依頼申請書→			
	2				
	3				
	4				
	5				
検査に影響する臨床情報		1) 10%中性緩衝ホルマリンの固定時間が6時間未満72時間以上 2) 未染スライドで6週間以上放置されていたもの 3) コーティング加工がされていないスライドガラス			
検査受付時間		8:15~16:00			
<b>検体採取・搬送・保存</b>					
患者の事前準備事項		手術、及び内視鏡、穿刺等の侵襲的検体採取では様々な準備が必要となるため、各々の担当医師、担当看護師等の指示に従う。			
検体採取の特別なタイミング		特記事項無し			
検体の種類		採取管名	内容物	採取量	単位
1	未染スライドガラス	該当なし	該当なし	1	枚
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
検体搬送条件		室温			
検体受入不可基準		破損したスライドガラス			
保管検体の保存期間		1) パラフィンブロック：半永久 2) スライドガラス：半永久 *保管検体から再検査をオーダーする場合は要連絡			

検査結果・報告						
検査室の所在地		病院棟 3 階 病理診断科				
測定時間		3 日				
生物学的基準範囲		該当なし				
臨床判断値		1) 体外診断用医薬品項目は各種ガイドラインを参照 2) 1) 以外の項目は添付文書を参照				
基準値					単位	該当なし
共通低値	共通高値	男性低値	男性高値	女性低値	女性高値	
該当なし	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし	
パニック値	高値	該当なし				
	低値	該当なし				
生理的変動要因		該当なし				
臨床的意義		免疫組織化学とは、組織細胞内に存在する特定物質を抗原抗体反応を利用して検出する方法をいう。免疫組織化学の病理診断への応用は HE 標本だけでは判断が困難な場合に、補助的あるいは客観的所見を得るために実施される。特に軟部腫瘍の診断、未分化または低分化悪性腫瘍と悪性リンパ腫の鑑別、転移性悪性腫瘍における原発巣の特定、腫瘍組織における細胞増殖能の判定、がん遺伝子産物の検出、感染症の診断などに有効である。				